



第32回オンタリオ州日本語弁論大会開催要領

<http://buna.arts.yorku.ca/ojsc/>

1. 日時 2014年3月8日(土)13:00～18:00
2. 会場 J.J.R. MacLeod Auditorium (MS2158), University of Toronto
1 King's College Circle, Toronto, Ontario
3. 主催 オンタリオ州日本語弁論大会実行委員会(トロント大学東アジア研究科)
協賛 在トロント日本国総領事館, 国際交流基金

4. 応募資格(以下のすべての条件を満たすこと)

- 1) 18才以上であること
- 2) オンタリオ州に在住する者
- 3) 日本語を外国語として学習中の者
- 4) 日本語教育関係者からの推薦を受けられる者(推薦者の資格に関しては11(2)を参照)

- 注
- ・複数の機関で日本語を学習している場合は、所属期間が長いほうの機関からの出場のみを認める。
 - ・日本語コースを履修中でない学習者も、所属する教育機関に日本語プログラムがある場合はその機関においての選考を経て、所属機関からの応募とする。
 - ・出場者は、大会当日、既定の時間までに受付にスピーチ原稿を提出し登録を済ませること。
 - ・出場者は閉会式まで参加することを前提とする。

5. 出場部門

各部門とも以下の条件を参照すること。日本語学習時間においては、初等・中等教育機関等での学習時間も含める。なお、機関ごとの各部門への出場者数および出場者総数には上限があり、その数は事前に行われる機関調査にもとづき大会実行委員会が決定し、各機関に通知する。機関の規模と出場者数の算出方法はHPを参照のこと。

	初級	中級	上級	オープン
家庭内での日本語話者の有無	なし	なし	なし	不問
日本語学習時間	130時間未満	260時間未満	制限なし	制限なし
日本滞在期間(学齢期以降)	3ヶ月以下	6ヶ月以下	1年未満	制限なし

- 注
- ・本大会出場資格の認定は、2014年3月7日時点を基準とする。
 - ・過去における最優秀賞受賞者、及び各部門での第1位入賞者は、同一部門への出場を認めない。
 - ・過去に日本語を教えた経験を有する者は、オープン部門にのみ参加を認める。
 - ・現在所属機関のない参加者は上級とオープン部門にのみ出場可。
 - ・出場可能な部門が判断できない場合は、申し込む前に大会実行委員会まで問い合わせること。

6. スピーチの題名及び内容等

- 1) 題名は自由だが、内容はなんらかの形でカナダと日本を織り込むことが望ましい。
- 2) 必ず本人が書いたものであり、題名、内容ともに未発表のものである。
- 3) キューカードの使用は認めるが、使用の度合いによっては減点の対象とする。
- 4) 所属機関名をスピーチの中に盛り込まない。

7. 制限時間

- 1) 初級の部は3分間、その他の部門は4分間とする。
- 2) 制限時間を超過した場合は減点の対象となる。

8. 審査

- 1) 各界の学識経験者等5名によって行われる
- 2) 大会実行委員会は審査には関与しない。
- 3) 審査基準については大会ホームページを参照のこと。

9. 賞状及び賞品

- 1) 各部門の入賞者には賞状及び賞品が授与される。
- 2) 他の参加者全員に参加賞が授与される。

10. 全国大会への出場権

各出場部門の1位入賞者は2014年3月29日にオタワで行われる全国大会への出場資格を得る可能性がある。

11. 応募方法その他

申込書類⁽¹⁾: ①申込用紙 ②推薦者⁽²⁾フォーム

申込先: ojsc.committee@gmail.com (受け取り確認のメールが届かなかつた場合は再送のこと)

締切り: 2014年2月12(水)午後5時(時間厳守)

結果発表: 2月19日(水)までにメールにて通知

- (1) 万一、出場資格について疑義が生じた場合は、実行委員会が調査し出場の可否を決定する。大会後に虚偽の申請または不正が発覚した場合は賞の剥奪についても検討する。
- (2) 推薦者フォームの記入は、出場者が所属する日本語プログラムの代表者が行う。ただし、所属機関のない出場希望者に関しては、過去5年以内にオンタリオ州の日本語教育機関で日本語を教えていた者の記入も可。